

8341 は、やさしい

私が^{わたし} 中学校^{ちゅうがっこう}や高校^{こうこう}で歴史^{れきし}の勉強^{べんきょう}をしていた頃^{ころ}、いつどんなことが起こったかをたくさん覚えなければなりません。でも、593年^{ねん}や710年^{ねん}、1010年^{ねん}、1543年^{ねん}など、数字^{すうじ}を覚えることはとても大変^{たいへん}です。そんな時に役に立つのが「語呂合わせ^{ごろあ}」という方法^{ほうほう}です。

「語呂合わせ^{ごろあ}」は、数字^{すうじ}を覚えるための方法^{ほうほう}です。例えば「593」を「ご・きゆう・さん」や「ごひやくきゆうじゆうさん」と読まずに、「ご・く（ろう）・さん＝ご苦労さん」と読んで、一つの意味のある言葉^{ことば}に変えて覚える方法^{ほうほう}です。

この「語呂合わせ^{ごろあ}」は、勉強^{べんきょう}のとき以外にも役に立ちます。例えば、鍵を開けるときの暗証番号^{あんしょうばんごう}などを覚えるときに便利^{べんり}です。例えば8341は「や・さ・し・い」と覚えることができます。8の読み方は「はち」「はっ（こ）」「やっ（つ）」などいろいろありますが、ここでは「や」という音^{おと}を使いました。3の読み方は「さん」「みっ（つ）」などありますが、ここでは「さ」という音^{おと}を使いました。4は「し」、1は「い」という音^{おと}を使いました。全て合わせると「や・さ・し・い＝優しい」になり、8341を「はち、さん、よん、いち」と覚えるよりもずっと簡単に覚えることができます。

日本語の数字は、いろいろな読み方があるので、「語呂合わせ」を作りやすいです。語呂合わせを作るときは、「さん」の「さ」だけを使ったり、「いち」の「い」だけを使ったり、10を英語のtenのように「てん」と読んだり、自由な考え方が大切です。例えば1031は「てん・さ・い=天才」と読むことができますね。ほかに、4649は「よ・ろ・し・く」、4690は「し・ろ・く・ま」（最後の0は「まる」の「ま」）など、おもしろい語呂合わせを自由に作ることができます。

最近「語呂合わせ」のアプリもあるようです。数字を入れれば、自動的に、その数字に合う「語呂合わせ」を考えてくれるアプリです。私も最近、自分の車の番号や、家族の電話番号を覚えられなくなってきたので、語呂合わせアプリを使ったり、自分でおもしろい語呂合わせを考えたりして、数字を覚えたいと思っています。

(845字)

(2022.6 Written by Junko SATO)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.